



Subaru

男声合唱団 ニュース№595

16. 12. 23

今年を締めくくる昂定例レッスンと 末廣亜矢子特別レッスンを開催！ 望年会で来年に想いを寄せて！

12月16日
18日

□12月16日(金)18:00～20:30昂定例レッスンが開催されました。佃さんの体操と千秋さんのウォイストレーニングのあと、本並先生の指揮で「花の歌」を、休憩をはさんで伊藤副指揮者の指揮で「さとうきび畑」を、再度本並先生の指揮で「この道」と「さとうきび畑」を仕上げました。特に18日(日)に開催される末廣亜矢子特別レッスンのため、レッスン曲「花の歌」と「さとうきび畑」に時間をかけて練習しました。ピアノ伴奏は西應靜さん、参加者は全34名でした。なお、レッスンの見学に向井さんが来られました。今年1月のいずみホールでの昂コンサートに感動しての入団希望ということで、来年1月から入団されること。大歓迎です！



□12月18日(日)14:00～15:00今年最後の昂定例レッスンが開催されました。奥村さんの体操と千秋さんのウォイストレーニングのあと、本並先生の指揮で、16日のレッスンに引き続き、「花の歌」と「さとうきび畑」を合唱練習しました。ピアノ伴奏は森二三さん。参加者は全38名でした。



今年最後の定例レッスン・指揮：本並先生



ヴォイストレーニング・千秋さん



□12月18日(日)定例レッスンに引き続き、15:00から17:00の2時間、末廣亜矢子先生の特別レッスンが開催されました。「花の歌」から始まり、冒頭ソロの古谷さんの歌、4小節から19小節「ちいさなくさがめをふいたー それからそつとはなつけたー たぶんそいつはとおいあさー それがぼくらのうたーーだったーー たぶんそいつはとおいあさー それがぼくらのうたーーだったーー」の部分（合唱部29小節から43小節も同じ歌詞）での先生とソリストとの1：1のこの曲の歌い方での楽しくも厳しいやり取りが交わされ、レッスン場は団員にとって歌ううえで大切なものは何か？を学ぶ「末廣声楽特別レッスン教室」になりました。

「花の歌」に引き続き、「さとうきび畑」では、最初に全員で合唱したことを踏まえ、まず「今からこの曲の曲づくりをしましょう」という言葉で始まりました。高音パート（Iパート）中音域パート（IIパート）低音域パート（IIIパート）のそれぞれにわたって、□から○のフレーズ番号ごとに、詞の表現の仕方、一言一言の音の強弱、子音と母音の出し方、クレッシェンド・ディクレッシェンド、テヌート・スラーの表現等々、曲を作り上げていく苦しみと楽しみを味わいました。

□17:30より興隆園に場所を変え「望年会」が行われました。

千秋団長の開会のあいさつで、「今年の1年を振り返り、1月のいづみホールでのコンサートの成功、秋のうたごえ in えひめでの銅賞受賞、入団者7名と新しい仲間が増え続けていること、そして来年12月3日の11回コンサートは会場・プログラムも決まった。来年も健康に注意して頑張ってやっていきましょう！」と昴の健闘を祝し、良き来年を迎えよう！と乾杯しました。宴もたけなわ、今年入団されたメンバーの方々が、自己紹介とともに、昴との出会い、

入団後の昴でのレッスン経験やうたへの思いをそれぞれ語られました。「昴に入って本当によかったです。これからも頑張ってやっていきます。精進します！」が皆さんの共通した思いのようです。テナーの美声で「斎太郎節」をソロで歌われる場面もあり、喝采を浴びました。



中堅・ベテランのメンバーからも一言ずつ「うた人生・昴への思い」について述べられました。ソリスト古谷さんから、ソロの“むつかしさ”をユーモアたっぷりに話され、“プロの一言“で声が変わる、うまくなる経験。プロとの出会いを大切にしたい」と語られました。「第一合唱団」で長年歌ってきた三谷さん。30周年コンサートにも出演し、原語を暗譜で歌われた。そして趣味を超えた「うたと山」について、来年の計画を含めて、その想いを語っていただきました。米川さんからは、25歳でうたごえに巡り合い、昴に入って10

年、歌うことのむつかしさを感じる今日この頃、来年のコンサートを響きの良いホールで歌う覚悟のほどを語られました。往復4時間かけて毎回の昴レッスンに通われている川妻さん。バリトン・バスの中心メンバーになりますと決意のほどを吐露された吉川さん。

そして大阪うたごえ協議会の創設時の専従員として12年間、その礎を作つてこられ、時を開けて、昴の創設時(1年目)からメンバーに加わられた高田さんが「うたごえ人生」について淡々と語られました。岡邑さんからは「大阪うたごえ協議会」の会長として活躍され、ご苦労いただいている現状の報告を兼ねて、「日本のうたごえ70周年記念事業」を大阪うたごえ協議会でも開催すること、”若者獲得大作戦”と称して、若い人々がうたごえの仲間に加わってもらうための大宣伝をと、計画を話し合っている・・と。

末廣亜矢子先生から、「昴レッスン3年になる。来年昴の活躍を祈っています。私も頑張ります。オペラ“魔弾の射手”を10月28日・29日兵庫県立芸術文化センターで開催する。聴きに来てほしい」と挨拶がありました。

最後に関西紫金草合唱団に入団された中国・華僑の2名の若き女性メンバーが本並先生を訪問され、日中友好・新しきうたごえの仲間と「大海 嘴故郷」を森二三さんのピアノ伴奏で合唱しました。

「人間の歌」「白樺」「わしらの海は朝からはじまる」「フィンランディア」「ナーダム」「Six Pence」「昴」と歌って、「来年も盛り上げて 12月 3日に向けて頑張りましょう！」でお開きとなりました。

□連絡事項等

(1) 2017年1月のレッスン日について・変更の連絡

2016年12月30日(金) 末廣声楽教室は中止

2017年1月6日(金) 昴定例レッスン 18:00~

1月6日(金) 中村声楽教室 13:45~ T1パートレッスン 16:00~

1月9日(月) 中村声楽教室 14:30~

1月10日(火) 千秋声楽教室 10:00~ B R・B Sパートレッスン 18:00~

1月13日(金) T2パートレッスン 14:00~

1月15日(日) 昴定例レッスン 14:00~ 運営委員会 11:00~

1月20日(金) 昴定例レッスン 18:00~ 技術部 Meeting 16:30~

1月29日(日) 昴定例レッスン 14:00~ (第5日曜日は定例レッスン)

(2) 第11回昂コンサートの日程・テーマ・演奏曲目等が決まりました。

12月18日の運営委員会にて「企画第6次—2案」に基づいてテーマ・曲目等を検討し、その基本構想を決定しました。

日時：2017年12月3日(日) 場所：豊中市文化芸術センター大ホール（1344席）

タイトル：—この道をゆこうよ—

プログラム演奏曲目等：「昂ホームページ」参照してください。

特別団員を募集します。チラシ作成担当：乾さん チケット担当：山本力さん・岩崎さん

2017年“がんばろ”大阪フェスタ

“力を寄せ合い”歌って踊って元気にスタート！！

2/5(日)守口文化センターエナジーホール

開場 13:00 開演 13:30 終演 16:00 参加協力券 800円



プログラム

- ・獅子舞＆横笛
- ・女性のうたごえ
- ・北西地域のうたごえ
- ・シルバーのうたごえ
- ・南部地域のうたごえ
- ・うたう会パートⅠ・東部地域のうたごえ
- ・ゲスト「STRINGS.DRAFT」器楽演奏
- ・沖縄平和ツアーレポート&創作曲発表
- ・北部地域のうたごえ
- ・北河内地域のうたごえ
- ・青年＆保育のうたごえ
- ・関西アコクラブ
- ・うたう会パートⅡ・河南・阪南地域のうたごえ
- ・日本のうたごえ愛媛祭典入賞団体の演奏
- ・お楽しみの大抽選会
- ・日本のうたごえ祭典“金沢からの呼びかけ”
- ・ラスト全員大合唱

(3) 「2017“がんばろ”大阪フェスタ」が2月5日(日)に開催されます。

南部地域合同で「人間の歌」を合同演奏します。合同レッスンは当日のみ、各サークルでレッスンのこと。